

京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近における
鉄道立体化の早期事業化に向けた意見書

京成本線京成高砂駅から江戸川駅の間には、現在、10ヶ所の踏切が存在しており、踏切事故の発生による危険性やそれに伴って生ずる列車の遅延、交通渋滞の発生によって道路交通の円滑化の大きな妨げとなっているほか、排気ガスによる環境悪化を招いています。また、鉄道により地域が分断され、地域住民の経済活動や日常生活への影響など、深刻な課題を長年抱え、一体的なまちづくりが進まない状況にもなっています。

東京都では平成20年6月に、京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近の区間を連続立体交差事業の事業候補区間に位置付け、現在、鉄道立体化の可能性について調査・検討を実施しており、その実現に向けて、地域住民の期待も高まっています。

また、江戸川区においても、鉄道立体化の早期実現に向けて、京成小岩駅周辺のまちづくりを地域住民との協働により進めています。

よって、江戸川区議会は、東京都に対して、京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近における鉄道立体化の早期実現に向けた取組みを着実に推進するよう、下記事項を強く要望します。

記

- 1 京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近の連続立体交差事業の早期事業化を図ること
- 2 鉄道立体化に合わせた京成小岩駅周辺地区のまちづくりの実現に必要な支援をすること

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和3年9月28日

江戸川区議会議長 福本光浩

東京都知事 あて